

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 18 陣の記録

テーマ：平和構築，対象国：インドネシア

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、インドネシアよりイスラム団体関係者・国立イスラム大学の学生 24 名が、2020 年 1 月 21 日～1 月 28 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、「平和構築」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、東京都でマスジッド・インドネシア（モスク）を視察したほか、（一社）ハラル・ジャパン協会や拓殖大学、イスラム研究所で講義を受けました。広島県では、広島大学において学生と交流会に参加し、活発に意見交換を行い、友好の絆を築きました。さらに、平和記念公園や広島平和記念資料館を視察し、原爆被害の実態を後世の人々に理解させる大切さを深めました。また、一行はプログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

2. 日程

1 月 21 日（火）来日【オリエンテーション】

1 月 22 日（水）【講義】一般社団法人ハラル・ジャパン協会
【視察】マスジッド・インドネシア（モスク）

1 月 23 日（木）【講義】拓殖大学 国際学部/イスラム研究所
東京都から広島県へ移動

1 月 24 日（金）【講義】広島大学
【学生交流】学生とのランチ交流会
【講義・交流】NGO ANT-Hiroshima

1 月 25 日（土）【視察・講話】広島平和記念公園，広島平和記念資料館
【ホームステイ】入村式

1 月 26 日（日）【ホームステイ】離村式
広島県から東京都へ移動

1月27日（月）【表敬】在京インドネシア大使館
【ワークショップ】【報告会】

1月28日（火）帰国

3. プログラム記録写真



1月21日【オリエンテーション】



1月22日【視察】
マスジッド・インドネシア（モスク）



1月23日【講義】
拓殖大学 国際学部/イスラム研究所



1月24日【学生交流】
学生とのランチ交流



1月24日【講義・交流】
NGO ANT-Hiroshima



1月25日【視察・講話】
広島平和記念公園/広島平和記念資料館

	
<p>1月25日【視察・講話】 広島平和記念公園/広島平和記念資料館</p>	<p>1月26日【ホームステイ】 【離村式】</p>
	
<p>1月27日 【オリエンテーション】</p>	<p>1月27日 【報告会】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 学生

私は、歴史愛好家として、東京江戸博物館への訪問がとても楽しかったです。これまでは、歴史本や漫画本からしか知り得なかったけれど、昔の日本について見たり想像したりすることができました。広島記念資料館では、次世代への平和教育のためにも、重いテーマだけれども広島の前爆に関する全てのことは記録されなければならないと感じました。私が一番印象的だったのは、日本人が樹木に対しても心をはせる点です。通常、インドネシアでは、人間だけが被害者として認識されます。けれど、日本では、樹木もが被害者として認識されています。また、広島被爆者との面会させて頂いたことは、本当に感動的で言葉になりません。平和構築のために今後も続けてほしいです。

◆ 学生

広島がすべてが素晴らしいです。ホームステイ先のご両親は、私達を実の子供のように扱ってくれて本当にいい人でした。素晴らしいおもてなしを感じました。大学、NGO、広島記念公園、訪問先はどれもとても良かったです。日本人の文化や慣習について知ることができました。最も良かったのは、広島大学と広島原爆記念資料館訪問で、1945年の原爆について理解するのにとても役立ちました。また、日本がどのように原爆からの復興を成し遂げたのかについて知ることができました。このような交流がこれからも継続するように期待しています。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 大学関係者（広島大学）

前半の小宮山教授による「平和都市広島の歴史と広島大学」の講義では、皆さん非常に熱心に聞き入り、原爆被災の悲惨な話を聞いて涙ぐんだ訪日団員が見られたのが印象的でした。後半の昼食会を兼ねた座談会でも積極的に意見交換を行っていました。全体を通じ、参加者の今回の事業に取り組む姿勢や意識の高さに感心させられました。

◆ ホームステイ関係者

イスラム教の皆様でハラル対応が必要ということで、受入直前まで、特に食事についてホストファミリーは大変心配し、不安が大きかったようですが、実際に受入をしてみると、皆様気さくな方々ばかりで安心しました。もちろん、言葉のコミュニケーションにはお互いに四苦八苦していたようですが、研修員の皆様の交流に対する積極的な姿勢もあり、大変楽しく有意義な2日間となったようです。ホストファミリーをはじめ安芸太田町一堂にとって貴重な機会を頂戴でき、感謝しています。

6. 参加者の対外発信

 <p>Disukai oleh tomi_adi_setiawan dan 21 lainnya yosaf_putra Hiroshima peace memorial Park #japan #jenesys2019</p>	<p>Words cant describe how grateful i am to get to meet these people, my second family in Hiroshima. 2 days was definitely not enough for us to stay. This precious memories wont ever fade ❤️ #jenesys2019 #japan #jtb #asean</p>  <p>いいね! コメント シェアする</p>
<p>広島原爆ドームについて発信：広島平和公園内にあり，原子爆弾投下に関連するモニュメント。(Facebook)</p>	<p>ホームステイについて発信：広島で第2の家族（ホストファミリー）と会えたことを，言葉で言い表すことが出来なくらい素晴らしかった。2日の滞在ではとても短すぎる。この貴重な素晴らしい思い出を忘れることはないだろう。(Facebook)</p>
 <p>test0795 I have got many valuable experiences to learn, proud to be #Jenesys2019 #japan #jtb #asean</p>	<p>So beautiful. Akhirnya bisa masak sushi bersama a keluarga di Jepang #japan #jenesys2019 #asean #jtb</p> 
<p>インドネシア大使館表敬訪問を発信：多くの貴重な体験をし，参加できた事を誇りに思う。(Facebook)</p>	<p>日本食・巻き寿司について発信：とても美しい！日本でホストファミリーと海苔巻きを作った。(Facebook)</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

<p>Product to Engage Youth?</p> <p>AUDIobook</p> <ul style="list-style-type: none"> "Sadako and One Thousand Paper Cranes" and other inspiring books Bahasa Indonesia Local language <p>E-BOOK</p> <ul style="list-style-type: none"> E-Book "Sadako and One Thousand Paper Cranes" E-Book "Dear World; Pesan Perdamaian dari Seorang Bocah Korban Perang" Etc <p>PODCAST</p> <ul style="list-style-type: none"> Promoting Peace Through Podcast Themes: Peace talk, Book review <p>PEACE AND YOUTH GO FORWARD TOGETHER</p>	<p>ACTION PLAN</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. As A Teacher Inserting peaceful parenting method in a classroom such as communicate with a calm intonation and apologize if we make a mistakes. 2. As A Student Keep reminding our friends to always respect other people's choices and diversity. 3. As A Singer or Musician Write a peacemaking song lyrics or sound clip and upload it on all social media platforms. 4. As A Parent Make sure that parents are mentally, physically and financially ready to raise a children in order to create the best generation ahead.
<p>アクション・プラン①</p> <p>若者の心を惹きつける SNS 等のソーシャルメディアを通し平和の大切さを発信</p> <p>オーディオブック “禎子と千羽鶴” や戦争・平和を書いた本のアプリを使用。</p> <p>E-BOOK 筆者：日本人 “禎子と千羽鶴” 筆者：インドネシア人 “Dear Peace 戦争犠牲者の少年から平和のメッセージ”</p> <p>Podcast 無料専用アプリ，ポッドキャストを通し平和の大切さを伝える。</p> <p>テーマ：平和について話，本の感想等。</p>	<p>アクション・プラン②</p> <p>※それぞれの役割（先生，学生，歌手・ミュージシャン，親等）を通し，皆で平和の大切さを認識する。メディアを通じて発信するように活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先生であれば：落ち着いたトーンで話し，ミスをした場合は謝るなど，授業で穏やかに子供を育てる教育方法を導入する。 2. 学生であれば：常に他人の意思と多様性を尊重するよう，友人らに伝える。 3. 歌手・ミュージシャンであれば：平和構築の歌またはサウンドクリップを作り SNS にアップロードする。 4. 親であれば：将来，より良い次世代を生み出す為，両親が精神的・体力的・経済的に子供を育てる準備が出来るように努力する。



Activity : World Peace of Youth Forum
Place : Muhammadiyah Malang University
Time : 8 - 9 Mei 2020
Audience target : 180 persons



アクション・プラン③

若者に関心を持ってもらうには？
平和構築の大切さを伝えるセミナーやイベントを継続して開催していく。

(例) 2020年5月8日から9日に Muhammadiyah Malang University で 180名の学生と平和構築について会合を開く予定である。

事業実施団体 : 株式会社 J T B